

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 アスリート・ナビゲーション事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 競技スポーツ課 ジュニアアスリート発掘・育成係

電話番号：058-297-7003

E-mail：c11173@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 338千円 (前年度予算額：950千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	950	0	0	0	0	0	0	0	950
要求額	338	0	0	0	0	0	0	0	338
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県の競技力を向上させるためには、現役トップアスリートが競技に専念できる生活環境が必要であり、成年のトップアスリートにとって最も重要なことは、経済基盤の確立である。

日本代表・代表候補選手は、代表合宿・海外遠征等に招集された場合、自己負担が生じ、その捻出に苦勞することが少なくなく、なかには、自己負担ができずに代表を辞退する選手もいる。

県ゆかりの選手が、県内企業に就職をして、仕事と競技を両立できれば競技力も向上し、企業としてもオリンピック・世界大会に出場する社員を応援することで、社内の士気が高揚し一体感が醸成されることになり、企業も選手もWin-Winの関係を目標とする。

(2) 事業内容

仕事と競技を両立しながらオリンピック出場を目指すという高い目標を持っている県ゆかりのトップアスリートが、県内企業に就職を希望している場合に、選手と企業や経済団体とのマッチングの機会を創出する。

県が選手・企業の双方と面談をし、両者にとって有益なマッチングを実現させ、県内への就職を支援する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県の競技力向上につながる競技環境の整備であるため、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

「無」

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	268	選手、企業関係者、JOC 関係者等との面談・打合せ
消耗品費	22	事務用品
役務費	48	通信運搬費
合計	338	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各計画での位置づけ

「岐阜県清流の国スポーツ推進条例」において、県は競技力の向上のために岐阜方式の継続等、関係者が連携を図ることを推進している。

「清流の国ぎふスポーツ推進計画」において、トップアスリートの就業支援を行っていくこととしている。

(2) 国・他県の状況

(公財)日本オリンピック委員会は(JOC)「トップアスリート就業支援ナビゲーション」事業(アスナビ)を2010年(平成22年)に開始し、現在も実施している。

(3) 後年度の財政負担

選手と企業のマッチングの機会を創出するものであり、財政負担が増えることはないが、継続した事業展開により仕組みを認知してもらい、効果を高めることが大切である。

(4) 事業主体及びその妥当性

選手の競技力と企業情報の両方を持ち合わせているのは県しかないが、事業が軌道に乗れば県スポーツ協会等で実施することも可能である。

事業評価調査書

新規要求事業
 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

2021年に開催される東京オリンピックに向けて、オリンピック等の国際大会出場を目指す県ゆかりのトップアスリートが安心して競技に専念できるよう、県内企業とのマッチングの機会を創出し、30名の就職を支援する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
		(H26)	(H29)			
トップアスリートの県内企業への就職数(人)	0 (H26)	24 (H29)	31 (H30)	31 (R1)	30 (R3)	104%

○指標を設定することができない場合の理由

--

(前年度の取組)

・アスリート雇用に興味を示し、求人票の提出があった企業と、トップアスリートとのマッチング機会を創出した。

(前年度の成果)

・2名のトップアスリートが企業面談を実施した。1名は合意に至らなかったが、1名は企業とのマッチングに成功した。
・多くの企業がコロナ禍により、一般社員と同等の労働条件を求めており、練習環境を求めるトップアスリートのマッチングは、厳しい状況になることが見込まれる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	オリンピック等の国際大会を目指す県ゆかりのトップアスリートと、それらを採用することで、社内に新たな活力を期待する県内企業の相互に有益なマッチングを実現し、県の競技力向上や子ども達の憧れとなるトップアスリートの競技環境を整備する。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) △	トップアスリート拠点クラブの選手雇用は、クラブと企業努力により軌道に乗っているが、それ以外の選手のマッチングについて今後実績を作っていく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	企業に対し、アスリート雇用への関心等事前アンケート調査を行うなど効率化は図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 企業に有益な人材をマッチングするためには、競技成績だけではなく社会人としての人間性が重要視されている。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか トップアスリートが安心して競技に専念できる環境は、県内企業と選手だけではなく、次世代を担う子ども達の憧れにもなり、県のスポーツ環境そのものに対し非常に有益である。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	—
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	—